

全数・定点報告疾患集計表（管内で届出のあった疾患のみ抜粋）

【全数報告疾患】

	疾患名	13週~14週	累計(年)
2類	結核	0	1
4類	レジオネラ症	0	1
	E型肝炎	0	1
5類	百日咳	0	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1
	梅毒	0	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	急性脳炎	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1

【定点報告疾患】 ※県より上回っているものは赤字にしています。

疾患名	山武保健所		千葉県	
	13週	14週	13週	14週
インフルエンザ	2.33	0.33	4.57	1.92
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	0.83	0.5	1.06	0.97
RSウイルス感染症	0	0.33	0.29	0.17
咽頭結膜熱	0	0.33	0.1	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.0	1.67	2.53	2.37
感染性胃腸炎	1.0	1.67	4.16	3.45
伝染性紅斑	0	0.33	0.05	0.06
流行性角結膜炎	1.0	0	0.29	0.29
急性呼吸器感染症 (ARI)	50.6	36.5	53.79	46.34

※定点報告疾患については、第10~14週のグラフを別添しております。

感染症トピックス

TOPICS 1

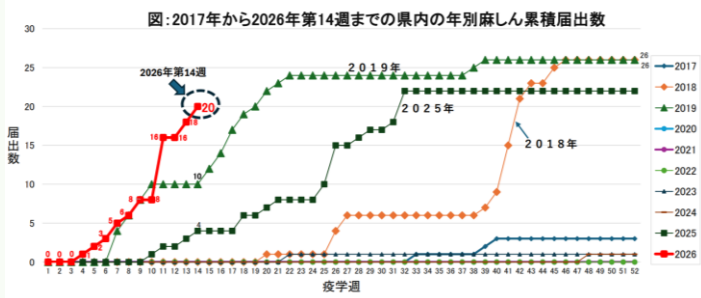
引き続き県内で麻疹患者が増加しています

2026年第13~14週に県内医療機関から4例の届出があり、本年の累計は20例となりました。

同時期との比較において、2017年以降で最多となっており、国内外で届出数が増加しています。

山武管内においては、第14週時点で届出はありませんでした。

全国では、第13週に計30件の届出があり、累計で197件となっています。



感染症解説  
麻疹

症状

感染後約10日から12日後38℃前後の発熱や咳、鼻水、くしゃみ、目の充血などが約2日から4日間続き、解熱後再び39℃以上の高熱と発しんが出現します。

感染経路

主は空気感染。その他、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへ感染します。

潜伏期間

約10~12日間  
(最長21日間程度になる場合もあります。)

感染可能期間

発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまで  
(全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後5日間まで)

予防方法

手洗い・マスクのみでは予防できません。予防接種が最も有効です。  
定期予防接種を2回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医に相談の上、接種を検討しましょう。



【引用文献】

〈厚生労働省HP 麻疹 (はしか) 〉

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html)

〈千葉県結核・感染症週報2026年第14週〉

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2614-2.pdf>

## 医療機関の皆さまへ

麻しんを疑う患者が受診した際には予防接種歴の確認や院内感染対策の実施など、**麻しんを意識した診療**をお願いいたします。

届出に必要な要件を満たすと判断した場合は、**直ちに保健所に発生届（臨床診断例）を提出**するとともに**保健所まで御一報**ください。

また、確定診断のための検査は千葉県衛生研究所で実施するため、以下の**検体の確保と検査票の記入**に御協力をお願いいたします。

検体の種類	採取量	採取容器
血液	2～5ml	密封できるEDTAまたはクエン酸入り試験管 *ヘパリン入り試験管は不可
尿	10～20ml	密封できる滅菌スピッツ
咽頭ぬぐい液	綿棒1本	密封できる滅菌スピッツ

また、患者に対して、公共交通機関を使用せず受診し、他への立ち寄り（薬局含む）はせず、帰宅するよう御指導をお願いいたします。

接触者（疑い患者と同じ空間を共有した可能性のある職員や来院者等）※の**リストアップ**をお願いすることがありますので、御協力をお願いいたします。

発生届や検査票については、以下のリンクより御確認ください。

※同一空間の共有者

空調が共通の空間に麻しん患者と同時に滞在していた者で、**患者がその空間から離れた後少なくとも1時間（最大2時間）以内にその空間に滞在した者は、患者と同一空間を共有したと考える**

↓ 図形の枠内をクリックすると、確認できます。

発生届

検査票

<医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版>

[https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical\\_201805.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical_201805.pdf)

<千葉県「千葉県麻しん対応指針・千葉県麻しん対応マニュアル」>

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippe/kansenshou/tebiki/mashin-shishin.html>

<厚生労働省HP 麻しん発生届>

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-05-14-03-b.pdf>

<千葉県HP 麻しん検査票>

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-noda/kansenshou/documents/sankou11.pdf>

## TOPICS 2

2026年4月1日から

妊婦を対象としたRSウイルスワクチンの定期接種が開始されました

**母子免疫ワクチン**であるRSウイルスワクチンを妊娠中に接種することで、乳幼児の肺炎・細気管支炎の主要な原因である、RSウイルスの感染を防ぐことができます。

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

2026年度から、妊婦の方へのRSウイルスワクチンの予防接種が、**予防接種法に基づく定期接種の対象**になっています。

対象者	接種時点で妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方 過去の妊娠時に組み換えRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）を接種したことのある方も対象になります。
接種スケジュール	妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種 ※接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師に相談してください。



### 報告基準

社会福祉施設等で感染症若しくは食中毒の発生またはそれが疑われる状況が生じ、以下の定義に当てはまる場合、**保健所まで御報告**をお願いします。

- ▷ 死亡者または重篤患者が1週間に2名以上発生した場合
- ▷ 患者(疑い含む)が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
- ▷ 通常の発生動向を上回る患者発生が疑われ、施設長が報告を必要と認めた場合

#### [報告先]

山武保健所 健康生活支援課  
TEL:0475-54-0611

# 山武保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 - - - 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

